

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案登録公報 (Y 2) (11) 実用新案登録番号

第2570990号

(45) 発行日 平成10年(1998) 5月13日

(24) 登録日 平成10年(1998) 2月20日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

A 4 6 B 13/02

A 4 6 B 13/02

A 6 1 H 23/02

3 5 4

A 6 1 H 23/02

3 5 4

請求項の数 4 (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願平3-30626
(22) 出願日 平成3年(1991) 4月4日
(65) 公開番号 実開平4-118031
(43) 公開日 平成4年(1992) 10月22日
審査請求日 平成7年(1995) 4月6日

(73) 実用新案権者 391030365

関 健二

福岡県北九州市八幡東区枝光4丁目14番
地11-303号

(72) 考案者 関 健二

滋賀県大津市南郷2丁目1番1号

(74) 代理人

弁理士 楠本 高義

審査官 鳥居 稔

(56) 参考文献 実開 昭53-110080 (J P, U)

実開 昭63-138137 (J P, U)

実開 昭61-34924 (J P, U)

(54) 【考案の名称】 育毛用ブラシ

1

(57) 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 複数の毛体が植設されたブラシにおいて、

前記複数の毛体が、本体ケースに固定された不動毛体と、該不動毛体に対して交互に配設され且つ復動させられる可動毛体とから構成され、該可動毛体を強制的に復動させる復動手段を備えたことを特徴とする育毛用ブラシ。

【請求項2】 前記復動手段が、前記可動毛体が植設されたブラシ台と、該ブラシ台を復動させるカムと、該カムを回転駆動させる電動モータとから構成されたことを特徴とする請求項1に記載の育毛用ブラシ。

【請求項3】 前記可動毛体が不動毛体に対して、1列又は複数列おき、若しくは格子状又は千鳥状に配設されたことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の育毛

2

用ブラシ。

【請求項4】 前記複数の毛体のうちの全部又は一部の毛体が光ファイバで構成され、又は該全部又は一部の毛体に光ファイバが貫通させられていて、該光ファイバが赤外線又は紫外線を放射する光源に接続されたことを特徴とする請求項1乃至請求項3に記載の育毛用ブラシ。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本考案は育毛用ブラシに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来より脱毛を防止すると共に発毛を促進するために、種々の育毛用ブラシが提案されている。たとえば実開昭63-18128号公報では、ブラシ(毛体)が植設されたブラシ取付体(ブラシ台)全体を電氣的に振動させることにより、そのブラシ(毛体)を

上下に振動させて、頭皮を刺激するようにされた育毛用ブラシが開示されている。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】しかし、かかる育毛用ブラシでは、たとえば1秒間に2〜3回程度の周期でブラシ取付体を上下に復動させるとブラシ全体が復動し、ブラシの先端が頭皮に接触したままブラシ本体の方が上下に動いてしまうことになり、この程度の周期では頭皮を有効に叩打することができなかった。したがって、高速でブラシ取付体を振動させる必要があるが、高速で復動するブラシによって頭皮を叩打するのは危険であり、しかも手に伝わる振動が大きいという問題があった。また、かかる育毛用ブラシではブラシ取付体の摺動部に頭髮が挟まれる恐れがあって大変危険であるなど、安全面で問題があった。

【0004】そこで本考案者は、1秒間に2〜3回程度の周期でも頭皮を叩打することができると共に使い易く安全な育毛用ブラシを提供するため、鋭意研究を重ねた結果本考案に至った。

【0005】

【課題を解決するための手段】本考案に係る育毛用ブラシの要旨とするところは、複数の毛体が植設されたブラシにおいて、前記複数の毛体が、本体ケースに固定された不動毛体と、該不動毛体に対して交互に配設され且つ復動させられる可動毛体とから構成され、該可動毛体を強制的に復動させる復動手段を備えたことにある。

【0006】また、かかる育毛用ブラシにおいて、前記復動手段が、前記可動毛体が植設されたブラシ台と、該ブラシ台を復動させるカムと、該カムを回転駆動させる電動モータとから構成されたことにある。

【0007】また、かかる育毛用ブラシにおいて、前記可動毛体が不動毛体に対して、1列又は複数列おき、若しくは格子状又は千鳥状に配設されたことにある。

【0008】更に、かかる育毛用ブラシにおいて、前記複数の毛体のうちの全部又は一部の毛体が光ファイバで構成され、又は該全部又は一部の毛体に光ファイバが貫通させられていて、該光ファイバが赤外線又は紫外線を放射する光源に接続されたことにある。

【0009】

【0010】

【作用】かかる育毛用ブラシは、毛体の先端が頭皮に軽く接触するような状態で使用され、復動手段により毛体のうち一部の可動毛体はその軸方向に復動させられる。一方、その可動毛体を除いた不動毛体は復動させられないので、可動毛体のストローク量が常に確保されていて、頭皮は一定の強さで叩打される。これにより頭皮が刺激されて、脱毛が防止されると共に発毛が促進されるなど、育毛効果が得られる。

【0011】また、電動モータによりカムが回転駆動させられ、このカムによりブラシ台が復動させられること

によって、そのブラシ台に植設された可動毛体はその軸方向に復動させられる。したがって前述と同様に、頭皮が刺激されて、育毛効果が得られる。

【0012】また、可動毛体が不動毛体に対して1列おき又は複数列おきに配設され、あるいは格子状又は千鳥状に配設されていて、作動中に育毛用ブラシ全体が傾いたりすることがなく、可動毛体が均一に頭皮に当たり、常に安定した状態で頭皮が叩打される。

【0013】更に、光源から放射された赤外線又は紫外線が光ファイバから成る毛体、あるいは毛体に埋設された光ファイバの先端部を通じて頭皮に照射され、頭皮が刺激されることによって、可動毛体の頭皮の叩打による育毛効果に加えてさらに育毛効果が高められる。

【0014】

【0015】

【実施例】次に、本考案に係る育毛用ブラシの実施例を図面に基き詳しく説明する。図1及び図2に示すように、本考案に係る育毛用ブラシ10は、本体ケース12の表面に復動させられない不動毛体14が植設されていて、その本体ケース12の内部に復動させられる可動毛体16が植設されたブラシ台18と、そのブラシ台18を復動させるカム20と、そのカム20を所定の回転速度で回転駆動させる減速機付き電動モータ22などが配設されて構成されている。本例では、ブラシ台18、カム20及び電動モータ22が、可動毛体16を復動させる復動手段を構成している。

【0016】このブラシ台18は樹脂などから成り、その内部は中空に形成されていて、その中心部には断面がほぼ長円形又は楕円形を成すカム孔24が形成されている。このブラシ台18は本体ケース12の内部で摺動し得るように配設されていると共に、その外表面に植設された可動毛体16が本体ケース12に穿孔された復動孔26を通して外部に突出させられている。この可動毛体16は不動毛体14の長さより若干長くされていて、ブラシ台18が上死点（図1及び図2に示す状態）にあるときは可動毛体16の先端が不動毛体14の先端より若干没入するが、ブラシ台18が下死点にあるときは可動毛体16の先端が不動毛体14の先端より若干突出するようにされている。

【0017】また、カム20は円柱状を成し、ブラシ台18に形成されたカム孔24に挿通されている。更に、そのカム軸が電動モータ22の駆動軸に連結されていて、電動モータ22によりカム20が回転駆動させられるようにされている。この電動モータ22は育毛用ブラシ10の把手部28内に配設された電池30などの電源に、図示しないスイッチなどを介して接続されている。また、図示しない可変の直流電圧変換器に接続されていて、電動モータ22に印加する電圧を自在に変えられるようにされている。

【0018】一方図3に示すように、不動毛体14及び

可動毛体16は全体として千鳥状に植設されていて、不動毛体14と可動毛体16は交互に配設されている。すなわち、可動毛体16は1列おきに配設されているのである。なお、可動毛体16と復動孔26とのクリアランスは小さいのが好ましいが、可動毛体16と復動孔26との間隙から温風などを噴出させる場合などにおいては、そのクリアランスは大きく設定されるのが好ましい。

【0019】次に、かかる育毛用ブラシ10の作動を説明する。この育毛用ブラシ10は毛体(14、16)の先端が頭皮に軽く接触するような状態で使用され、図示しないスイッチがオンにされると電動モータ22が作動させられ、カム20が回転駆動させられる。カム20は偏心させられた軸心上を回転させられ、カム20が回転駆動させられるとカム20と係合させられたカム孔24は従動してブラシ台18が復動させられ、可動毛体16がその軸方向(図1及び図2上では上下方向)に復動させられる。一方、不動毛体14は本体ケース12の表面に植設されていて、復動させられない。このため、可動毛体16の先端が不動毛体14の先端より突出したり没入したりさせられ、この可動毛体16によって頭皮が叩打される。このとき、不動毛体14によって可動毛体16のストローク量が確保されていて、頭皮はほぼ一定の強さで叩打される。ここで、ストローク量とはブラシ台18が上死点にあるときに不動毛体14の先端が成す面と可動毛体16の先端が成す面との距離に相当するものである。このように頭皮が叩打され刺激されることによって、脱毛が防止されると共に発毛が促進されるなどの育毛効果が得られる。

【0020】以上のように、本考案に係る育毛用ブラシ10は可動毛体16だけを復動させて不動毛体14は復動させないように構成されているため、常に一定のストローク量が確保されていて、電動モータ22の回転速度を遅くして、たとえば1秒間に1〜3回程度の周期でブラシ台18を復動させても、安全且つ有効に頭皮を叩打することができる。また、このような周期で作動させても不動毛体14によって頭皮との間隔が保たれているため、手に伝わる振動を小さくすることもできる。更に、ブラシ台18はその内部を中空に形成されていて軽量であるため、ブラシ台18の復動によって育毛用ブラシ10全体の重心が大きく変化することがなく、手に伝わる振動は非常に小さく使い易い。しかも、不動毛体14によって頭皮から摺動部などが隔離されていると共に、摺動部が本体ケース12の内部にあるため、頭髮が巻き込まれることがなく安全である。

【0021】また、この育毛用ブラシ10はブラシ台18、カム20及び電動モータ22から可動毛体16を復動させる復動手段が構成されているため、非常に簡素で故障が少なく、しかも安価で製造することができる。

【0022】更に、可動毛体16が1列おきに配設され

て、可動毛体16が下がった状態においては不動毛体14の先端部が頭皮と接触させられているため、使用中に育毛用ブラシ10全体が傾いたりすることがなく、常に安定した状態で頭皮を叩打することができ大変使い易いなど優れた効果を有する。

【0023】以上、本考案に係る育毛用ブラシの一実施例を詳述したが、本考案は上述した実施例に限定されることなく、その他の態様でも実施し得るものである。

【0024】たとえば図4に示すように、可動毛体32に光ファイバ34が貫通されていると共に、ブラシ台36の内部に紫外線を放射する光源38が配設されて構成された育毛用ブラシ40でも良い。この光ファイバ34は、図5に示すように、その一端が可動毛体32の先端から露出させられ、一方、その他端はブラシ台36の内部に露出させられていて、この内部に露出させられた他端部によって光源38から放射された紫外線を受けて上記一端に伝達し、その一端からその紫外線を放射するように構成されているのである。また、この光源38は本体ケース12に固定されていて、ブラシ台36が復動させられても、そのブラシ台36の内面に当たらないようにされている。なお、可動毛体32が植設された側と反対側におけるブラシ台36の内面には、光源38から照射された紫外線を有効に光ファイバ34へ導くため、反射板や反射膜などを配設するのが好ましい。

【0025】かかる育毛用ブラシ40によれば、光源38から照射された紫外線は光ファイバ34に入射させられ、その光ファイバ34を通じて可動毛体32の先端から出射させられて、頭皮に照射される。このように頭皮に紫外線が照射されることによって頭皮が刺激され、前述した可動毛体32の叩打による育毛効果に加えて、さらに育毛効果が高められる。

【0026】また図6に示すように、光ファイバ42はその一端が可動毛体44の先端から露出させられているのではなく、可動毛体44の中腹部分から露出させられていても良い。

【0027】また図7に示すように、可動毛体46に貫通された光ファイバ48を把手部50内に配設された赤外線放射する光源52のところまで導いておき、その光源52から放射された赤外線を集光して光ファイバ48に入射させ、その光ファイバ48を通じて可動毛体46の先端から赤外線を出射させて、頭皮に照射するようにしても良い。このように赤外線を頭皮に照射する場合も同様、可動毛体46の叩打による育毛効果に加えて、さらに育毛効果が高められる。なお、この光源52としては赤外線LEDなど各種の発光素子を用いることができる。また前述した育毛用ブラシ40のように、紫外線を放射する光源を用いることも可能である。本例のように、電動モータ22や光源52を作動させる電源を外部から供給するようにしても良い。

【0028】更に図示は省略するが、不動毛体にのみ光

ファイバを貫通したり、可動毛体と不動毛体の両方に光ファイバを貫通したりしても良いなど、いずれの毛体に光ファイバを貫通しても良い。また、上述のように毛体の内部に光ファイバを貫通させて設けても良いが、毛体を透光性の材料によって作り、毛体自体を光ファイバとして利用しても良い。この場合においても、上述の実施例と同様の構成を採ることができ、また同様の効果が得られる。

【0029】一方、図8に示すように、可動毛体16が植設されたブラシ台54が板状を成し、そのブラシ台54を復動させるカム56が電動モータ22に接続されて構成された育毛用ブラシ58でも良い。この可動毛体16にはブラシ台54をカム56の方向へ押し戻すための圧縮コイルばね60が周設されていて、カム56には凸部が3箇所形成されている。したがって、カム56が電動モータ22により回転駆動させられると1回転に3回の割合でブラシ台54が復動させられ、可動毛体16が復動させられる。本例では、圧縮コイルばね60を可動毛体16のうちの一部に周設しているが、全ての可動毛体16に周設しても良い。

【0030】また図示は省略するが、この育毛用ブラシ58において、不動毛体14が植設された側と反対側の本体ケース12の表面からボルトを螺合し、そのボルトの先端がブラシ台54の表面に接触するようにしておき、このボルトをその軸方向に移動させて調整することによって、可動毛体16の先端が不動毛体14の先端から出る量を自在に変えられるようにしても良い。調整ボルトを利用することにより、可動毛体16のストローク量を変えずに可動毛体16の先端が不動毛体14の先端から出る量を任意に変えることができ、可動毛体16によって頭皮を叩打する強さを任意に変えることができる。なお、カムを取り替えて可動毛体16のストローク量を変えるようにしても良いのは当然である。

【0031】また図9に示すように、可動毛体16が植設された板状のブラシ台62に鉄片64を固着し、その鉄片64に対向する位置に電磁石66を取り着けると共に、そのブラシ台62と本体ケース68との間に圧縮コイルばね70を介装させて構成した育毛用ブラシ72でも良い。この場合、電磁石66に流れる電流を連続してオン、オフすることにより、ブラシ台62が復動させられる。あるいは電磁石66に低周波電流を流すことによって、ブラシ台62を復動させることも可能である。なお、鉄片64と電磁石66との間にたとえばゴム板などの弾性部材を介装させて、衝撃的な振動を吸収するように構成するのが好ましい。

【0032】更に図10に示すように、不動毛体14及び可動毛体16を全体として格子状に配設して、可動毛体16を千鳥状に配設したものでも良い。この場合も前述した育毛用ブラシ10と同様、作動中に育毛用ブラシ全体が傾いたりすることがなく、常に安定した状態で頭

皮を叩打することができる。また図示は省略するが、不動毛体14及び可動毛体16を全体として格子状に配設して、可動毛体16を1列おきに配設したものでも良い。更には、周辺部に不動毛体14を配設して、その中央部に可動毛体16を配設しても良いなど、可動毛体16の配列は特に限定されるものではない。

【0033】その他、一々図示をしないが、復動手段としてダイヤフラムを利用することも可能である。また、減速機を介してカム20、56と電動モータ22を接続したり、歯車などを介して接続したりしても良い。更に、熱風あるいは温風又は冷風を可動毛体16と復動孔26との間隙や本体ケース12に設けられた孔から噴出させるように構成することも可能であるなど、本考案はその主旨を逸脱しない範囲内で当業者の知識に基づき種々なる改良、修正、変形を加えた態様で実施し得るものである。

【0034】

【考案の効果】本考案に係る育毛用ブラシはその毛体うちの一部を成す可動毛体を復動させる復動手段を備えているため、不動毛体により可動毛体のストローク量が常に確保されていて、1秒間に2～3回程度の周期でも頭皮を叩打することができる。この場合、手に伝わる振動が小さく使い易い。また、不動毛体によって頭皮から摺動部などが隔離されているので、安全である。

【0035】また、復動手段がブラシ台、カム及び電動モータとから構成されているため、非常に簡素で故障が少なく、しかも安価な育毛用ブラシを提供できる。

【0036】また、可動毛体が1列おき又は千鳥状に配設されているため、作動中に育毛用ブラシ全体が傾いたりすることがなく、常に安定した状態で頭皮を叩打することができ、大変使い易い。

【0037】更に、毛体に光ファイバが貫通されていて、その光ファイバが赤外線又は紫外線を放射する光源に接続されているため、頭皮が赤外線又は紫外線によって刺激され、さらに育毛効果を高めることができる。

【0038】

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案に係る育毛用ブラシの一実施例を示す断面正面図である。

【図2】図1に示した育毛用ブラシを示す要部断面側面図である。

【図3】図1及び図2に示した育毛用ブラシの一部を示す部分底面図である。

【図4】本考案に係る育毛用ブラシの他の実施例を示す断面正面図である。

【図5】図4に示した育毛用ブラシにおける可動毛体を示す拡大断面図である。

【図6】本考案に係る育毛用ブラシにおける可動毛体の他の実施例を示す拡大断面図である。

【図7】本考案に係る育毛用ブラシの他の実施例を示す

要部断面側面図である。

【図8】本考案に係る育毛用ブラシの他の実施例を示す断面正面図である。

【図9】本考案に係る育毛用ブラシの他の実施例を示す断面正面図である。

【図10】本考案に係る育毛用ブラシの他の実施例を示す部分底面図である。

【符号の説明】

10, 40, 58, 72; 育毛用ブラシ

* 12, 68; 本体ケース

14; 不動毛体

16, 32, 44, 46; 可動毛体

18, 36, 54, 62; ブラシ台

20, 56; カム

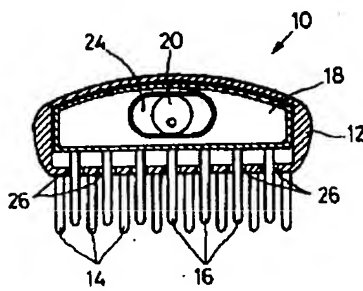
22; 電動モータ

34, 42, 48; 光ファイバ

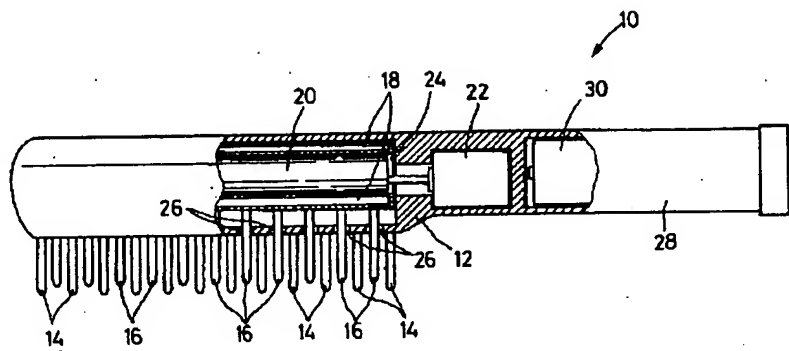
38, 52; 光源

*

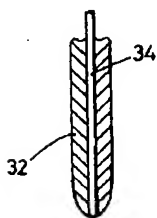
【図1】



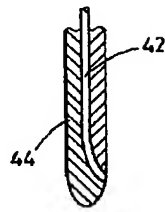
【図2】



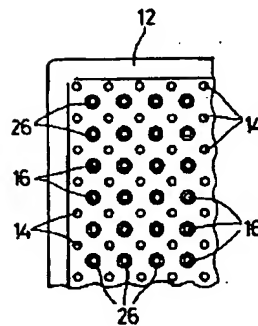
【図5】



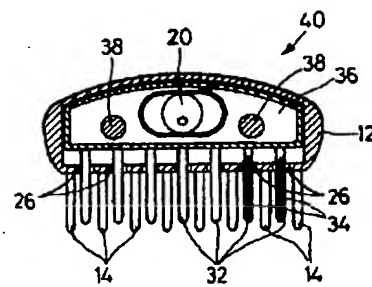
【図6】



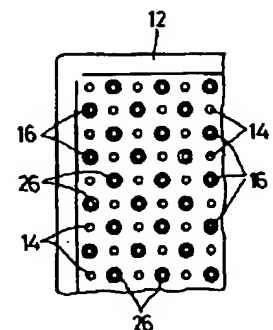
【図3】



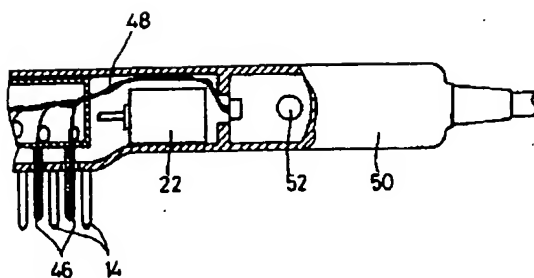
【図4】



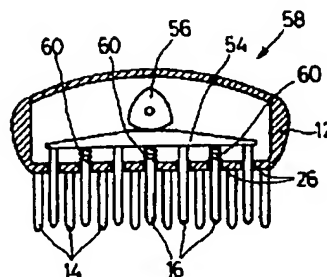
【図10】



【図7】



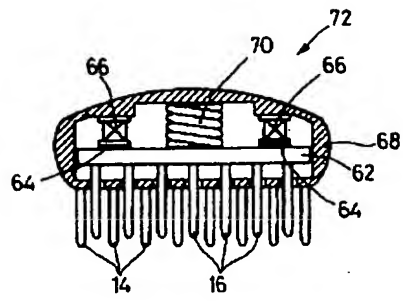
【図8】



(6)

実登2570990

【図9】



【正誤表】

【登録番号】

第2567213
第2567214
第2567261
第2567262
第2567283
第2567340
第2567348
第2567349
第2567351
第2567359
第2567386
第2567411
第2567412
第2567448
第2567534
第2567639
第2567642
第2567667
第2567671
第2567727
第2567803
第2567834
第2567922
第2567988
第2568208
第2568210
第2568213
第2568215
第2568233
第2568236
第2568282
第2568289
第2568345
第2568346
第2568359
第2568454
第2568455
第2568543
第2568569
第2568581
第2568648
第2568731
第2568786
第2568800
第2568809
第2568904
第2568920
第2568928

第2568935
第2568947
第2569016
第2569017
第2569032
第2569035
第2569068
第2569102
第2569108
第2569280
第2569281
第2569287
第2569290
第2569308
第2569311
第2569327
第2569329
第2569331
第2569338
第2569341
第2569371
第2569377
第2569379
第2569392
第2569393
第2569441
第2569447
第2569451
第2569491
第2569502
第2569623
第2569630
第2569659
第2569738
第2569798
第2569799
第2569800
第2569804
第2569841
第2569877
第2569878
第2569880
第2569899
第2569950
第2569963
第2569975
第2570027
第2570065
第2570089
第2570100

第2570130
第2570282
第2570394
第2570399
第2570401
第2570416
第2570417
第2570418
第2570432
第2570452
第2570463
第2570464
第2570483
第2570502
第2570559
第2570809
第2570822
第2570895
第2570915
第2570921
第2570923
第2570927
第2570954
第2570956
第2570970
第2570990
第2570994
第2570995
第2570999
第2571000
第2571005
第2571015
第2571048
第2571125
第2571162
第2571191
第2571210
第2571249
第2571250
第2571423
第2571424
第2571435
第2571489
第2571572
第2571631
第2571643
第2571644
第2571702
第2571708
第2571711

第2571722
第2571725
第2571762
第2571769
第2571778
第2571788
第2571789
第2571854
第2571858

正 誤 表

(平成10年9月3日発行)

実 用 登録番号	分 類	識別 記号	箇所	誤	正
2567213	G02B 7/28	3 0 5	審査請求日	平成7年(1995)10月4日	平成7年(1995)10月2日
2567214	G11B 19/20		審査請求日	平成8年(1996)7月4日	平成8年(1996)7月3日
2567261	F16K 1/42		審査請求日	平成7年(1995)1月26日	平成7年(1995)1月25日
2567262	F16K 31/06		審査請求日	平成7年(1995)2月9日	平成7年(1995)2月8日
2567283	B60R 11/02		審査請求日	平成7年(1995)10月11日	平成7年(1995)10月8日
2567340	F16K 17/34		審査請求日	平成8年(1996)7月8日	平成8年(1996)7月5日
2567348	G01R 1/22		審査請求日	平成7年(1995)3月30日	平成7年(1995)3月29日
2567349	F16H 3/02		審査請求日	平成7年(1995)4月3日	平成7年(1995)3月30日
2567351	A63C 11/02		審査請求日	平成7年(1995)5月22日	平成7年(1995)5月19日
2567359	H04B 10/152		審査請求日	平成7年(1995)9月18日	平成7年(1995)9月14日
2567386	G11B 23/50	3 3 0	審査請求日	平成8年(1996)4月3日	平成8年(1996)4月2日
2567411	G09F 17/00		審査請求日	平成8年(1996)1月25日	平成8年(1996)1月23日
2567412	F15B 15/14		審査請求日	平成8年(1996)6月28日	平成8年(1996)6月26日
2567448	G06F 1/16	5 4 1	審査請求日	平成7年(1995)3月1日	平成7年(1995)2月28日
2567534	E04B 2/74		審査請求日	平成7年(1995)2月1日	平成7年(1995)1月30日
2567639	A01K 83/04		審査請求日	平成8年(1996)2月7日	平成8年(1996)2月5日
2567642	H01L 21/331	3 2 1	審査請求日	平成7年(1995)4月21日	平成7年(1995)4月20日
2567667	B26D 7/18		審査請求日	平成7年(1995)7月18日	平成7年(1995)7月17日
2567671	B01D 27/08		審査請求日	平成7年(1995)8月31日	平成7年(1995)8月30日
2567727	H01H 13/02		審査請求日	平成6年(1994)7月8日	平成6年(1994)7月7日
2567803	F24F 1/02		審査請求日	平成7年(1995)11月30日	平成7年(1995)11月28日
2567834	G06K 17/00		審査請求日	平成8年(1996)7月10日	平成8年(1996)7月9日

実 用 登録番号	分 類	識別 記号	箇所	誤	正
2567922	F02B 61/00		審査請求日	平成8年(1996)7月15日	平成8年(1996)7月12日
2567988	H01L 21/205		審査請求日	平成6年(1994)6月28日	平成6年(1994)6月27日
2568208	F01N 7/08		審査請求日	平成6年(1994)2月3日	平成6年(1994)2月2日
2568210	E05B 1/00	3 1 1	審査請求日	平成7年(1995)3月7日	平成7年(1995)3月6日
2568213	B66F 3/24		審査請求日	平成9年(1997)3月31日	平成9年(1997)3月27日
2568215	G01N 35/10		審査請求日	平成8年(1996)8月13日	平成8年(1996)8月12日
2568233	F02P 7/02	3 0 1	審査請求日	平成6年(1994)10月5日	平成6年(1994)10月3日
2568236	B32B 7/02	1 0 3	審査請求日	平成7年(1995)4月5日	平成7年(1995)4月4日
2568282	H01L 23/14		審査請求日	平成6年(1994)6月16日	平成6年(1994)6月14日
2568289	B41J 29/00		審査請求日	平成7年(1995)3月1日	平成7年(1995)2月28日
2568345	E04H 13/00		審査請求日	平成7年(1995)7月21日	平成7年(1995)7月19日
2568346	G01R 31/12		審査請求日	平成6年(1994)7月6日	平成6年(1994)7月5日
2568359	B23D 49/12		審査請求日	平成7年(1995)9月20日	平成7年(1995)9月18日
2568454	D07B 1/06		審査請求日	平成8年(1996)10月25日	平成8年(1996)10月24日
2568455	G01N 3/08		審査請求日	平成6年(1994)8月29日	平成6年(1994)8月26日
2568543	H02B 1/42		審査請求日	平成6年(1994)9月26日	平成6年(1994)9月22日
2568569	F23N 1/00	1 0 5	審査請求日	平成7年(1995)11月30日	平成7年(1995)11月28日
2568581	G01N 3/06		審査請求日	平成8年(1996)1月26日	平成8年(1996)1月24日
2568648	H02G 5/06	3 1 1	審査請求日	平成5年(1993)10月27日	平成5年(1993)10月25日
2568731	B25J 19/00		審査請求日	平成9年(1997)1月6日	平成8年(1996)12月27日
2568786	B62D 43/02		審査請求日	平成8年(1996)6月17日	平成8年(1996)6月14日
2568800	B65G 27/22		審査請求日	平成6年(1994)9月19日	平成6年(1994)9月16日

実 用 登録番号	分 類	識別 記号	箇所	誤	正
2568809	F16J 15/32	301	審査請求日	平成7年(1995)12月18日	平成7年(1995)12月15日
2568904	B60R 22/42		審査請求日	平成7年(1995)6月14日	平成7年(1995)6月12日
2568920	H01B 7/02		審査請求日	平成5年(1993)7月21日	平成5年(1993)7月19日
2568928	A61G 7/00		審査請求日	平成7年(1995)10月16日	平成7年(1995)10月13日
2568935	A43B 3/02		審査請求日	平成8年(1996)2月15日	平成8年(1996)2月13日
2568947	E04G 17/06		審査請求日	平成8年(1996)9月6日	平成8年(1996)9月4日
2569016	B07C 9/00		審査請求日	平成7年(1995)9月28日	平成7年(1995)9月26日
2569017	B65D 1/46		審査請求日	平成9年(1997)1月24日	平成9年(1997)1月22日
2569032	B01D 27/06		審査請求日	平成8年(1996)1月4日	平成7年(1995)12月27日
2569035	B65D 27/04		審査請求日	平成8年(1996)3月25日	平成8年(1996)3月22日
2569068	B65D 47/36		審査請求日	平成7年(1995)5月25日	平成7年(1995)5月24日
2569102	F16K 31/42		審査請求日	平成7年(1995)8月31日	平成7年(1995)8月29日
2569108	H01H 9/02		審査請求日	平成7年(1995)11月27日	平成7年(1995)11月24日
2569280	B60J 11/00		審査請求日	平成8年(1996)6月26日	平成8年(1996)6月25日
2569281	A47B 3/00		審査請求日	平成7年(1995)11月22日	平成7年(1995)11月21日
2569287	G03B 17/24	501	審査請求日	平成8年(1996)7月8日	平成8年(1996)7月5日
2569290	B60J 5/00		審査請求日	平成7年(1995)12月28日	平成7年(1995)12月27日
2569308	B21D 45/04		審査請求日	平成8年(1996)1月11日	平成8年(1996)1月9日
2569311	A63C 11/02		審査請求日	平成8年(1996)3月5日	平成8年(1996)3月4日
2569327	E01F 7/02		審査請求日	平成8年(1996)1月31日	平成8年(1996)1月29日
2569329	A47G 1/00		審査請求日	平成8年(1996)3月21日	平成8年(1996)3月18日
2569331	E04G 21/18		審査請求日	平成8年(1996)4月19日	平成8年(1996)4月17日

実 用 登録番号	分 類	識別 記号	箇所	誤	正
2569338	B32B 15/06		審査請求日	平成5年(1993)6月14日	平成5年(1993)6月10日
2569341	B23B 19/02		審査請求日	平成6年(1994)9月6日	平成6年(1994)9月5日
2569371	F16K 1/226		審査請求日	平成8年(1996)2月5日	平成8年(1996)2月2日
2569377	B26B 19/44		審査請求日	平成8年(1996)4月30日	平成8年(1996)4月26日
2569379	G01B 11/16		審査請求日	平成8年(1996)6月5日	平成8年(1996)6月4日
2569392	B26B 19/10		審査請求日	平成8年(1996)7月18日	平成8年(1996)7月16日
2569393	B26B 19/10		審査請求日	平成8年(1996)7月18日	平成8年(1996)7月16日
2569441	A01C 11/02	3 1 5	審査請求日	平成7年(1995)12月7日	平成7年(1995)12月5日
2569447	E04B 1/80		審査請求日	平成8年(1996)2月21日	平成8年(1996)2月20日
2569451	A63G 19/00		審査請求日	平成8年(1996)4月23日	平成8年(1996)4月22日
2569491	C02F 1/44		審査請求日	平成7年(1995)2月6日	平成7年(1995)2月3日
2569502	A46B 15/00		審査請求日	平成7年(1995)10月16日	平成7年(1995)10月13日
2569623	C02F 1/78		審査請求日	平成7年(1995)11月24日	平成7年(1995)11月22日
2569630	F04D 7/04		審査請求日	平成9年(1997)4月4日	平成9年(1997)4月3日
2569659	H01R 9/24		審査請求日	平成7年(1995)7月10日	平成7年(1995)7月7日
2569738	F16J 15/32	3 0 1	審査請求日	平成8年(1996)4月30日	平成8年(1996)4月26日
2569798	A61H 23/00	5 2 1	審査請求日	平成6年(1994)12月2日	平成6年(1994)11月30日
2569799	A01D 61/00	3 0 2	審査請求日	平成9年(1997)3月17日	平成9年(1997)3月14日
2569800	B01D 21/24		審査請求日	平成9年(1997)4月15日	平成9年(1997)4月14日
2569804	F15B 11/00		審査請求日	平成7年(1995)1月25日	平成7年(1995)1月23日
2569841	F15B 11/08		審査請求日	平成8年(1996)7月1日	平成8年(1996)6月28日
2569877	G02B 6/00		審査請求日	平成7年(1995)9月7日	平成7年(1995)9月5日

実 用 登録番号	分 類	識別 記号	箇所	誤	正
2569878	B22D 41/50	5 1 0	審査請求日	平成7年(1995)10月4日	平成7年(1995)10月2日
2569880	H04R 7/12		審査請求日	平成7年(1995)11月1日	平成7年(1995)10月31日
2569899	B65G 23/44		審査請求日	平成8年(1996)5月22日	平成8年(1996)5月20日
2569950	F16K 15/03		審査請求日	平成8年(1996)12月25日	平成8年(1996)12月24日
2569963	H01Q 1/22		審査請求日	平成7年(1995)10月31日	平成7年(1995)10月30日
2569975	F16L 21/02		審査請求日	平成8年(1996)10月14日	平成8年(1996)10月11日
2570027	E05D 15/06	1 2 2	審査請求日	平成8年(1996)11月5日	平成8年(1996)11月1日
2570065	B41J 13/00		審査請求日	平成4年(1992)10月21日	平成4年(1992)10月19日
2570089	F23Q 7/08		審査請求日	平成8年(1996)1月4日	平成7年(1995)12月28日
2570100	A47C 9/00		審査請求日	平成8年(1996)3月4日	平成8年(1996)2月29日
2570130	B65G 47/14		審査請求日	平成8年(1996)11月5日	平成8年(1996)11月1日
2570282	G01M 11/02		審査請求日	平成6年(1994)4月6日	平成6年(1994)4月4日
2570394	B66C 13/20		審査請求日	平成8年(1996)2月21日	平成8年(1996)2月19日
2570399	B66C 23/697		審査請求日	平成8年(1996)7月12日	平成8年(1996)7月10日
2570401	B66F 9/22		審査請求日	平成8年(1996)11月20日	平成8年(1996)11月18日
2570416	A61M 5/32		審査請求日	平成7年(1995)6月22日	平成7年(1995)6月21日
2570417	H04R 1/34	3 2 0	審査請求日	平成7年(1995)10月9日	平成7年(1995)10月6日
2570418	F16B 7/14		審査請求日	平成7年(1995)11月1日	平成7年(1995)10月31日
2570432	A47G 29/00		審査請求日	平成8年(1996)6月27日	平成8年(1996)6月26日
2570452	A45D 20/14		審査請求日	平成6年(1994)7月4日	平成6年(1994)6月30日
2570463	E04G 25/06		審査請求日	平成8年(1996)2月5日	平成8年(1996)2月1日
2570464	E04G 25/06		審査請求日	平成8年(1996)2月5日	平成8年(1996)2月1日

実 用 登録番号	分 類	識別 記号	箇所	誤	正
2570483	B60Q 1/34	3 1 0	審査請求日	平成7年(1995)6月14日	平成7年(1995)6月13日
2570502	G02B 6/00		審査請求日	平成7年(1995)10月26日	平成7年(1995)10月24日
2570559	H01R 4/26		審査請求日	平成7年(1995)1月31日	平成7年(1995)1月30日
2570809	H04N 5/225		審査請求日	平成6年(1994)9月29日	平成6年(1994)9月28日
2570822	C02F 1/28		審査請求日	平成7年(1995)12月4日	平成7年(1995)11月30日
2570895	B02C 18/02		審査請求日	平成7年(1995)2月22日	平成7年(1995)2月21日
2570915	F16B 35/04		審査請求日	平成8年(1997)6月26日	平成8年(1997)6月25日
2570921	F16L 37/12		審査請求日	平成7年(1995)1月23日	平成7年(1995)1月20日
2570923	H04R 1/00		審査請求日	平成7年(1995)5月19日	平成7年(1995)5月17日
2570927	F16D 1/02		審査請求日	平成7年(1995)9月11日	平成7年(1995)9月8日
2570954	E05C 17/06		審査請求日	平成8年(1996)8月8日	平成8年(1996)8月6日
2570956	E05C 17/06		審査請求日	平成8年(1996)8月12日	平成8年(1996)8月9日
2570970	A61M 21/02		審査請求日	平成6年(1994)6月9日	平成6年(1994)6月8日
2570990	A46B 13/02		審査請求日	平成7年(1995)4月6日	平成7年(1995)4月4日
2570994	B01D 46/24		審査請求日	平成7年(1995)8月31日	平成7年(1995)8月30日
2570995	B01D 46/24		審査請求日	平成7年(1995)8月31日	平成7年(1995)8月30日
2570999	G09G 3/00		審査請求日	平成7年(1995)10月25日	平成7年(1995)10月23日
2571000	A47J 47/04		審査請求日	平成7年(1995)11月6日	平成7年(1995)11月1日
2571005	A01C 11/02	3 1 2	審査請求日	平成7年(1995)12月18日	平成7年(1995)12月14日
2571015	A45D 2/36		審査請求日	平成8年(1996)3月18日	平成8年(1996)3月14日
2571048	F16K 31/122		審査請求日	平成7年(1995)4月3日	平成7年(1995)3月30日
2571125	C02F 1/40		審査請求日	平成4年(1992)12月17日	平成4年(1992)12月15日

実 用 登録番号	分 類	識別 記号	箇所	誤	正
2571162	G01R 19/155		審査請求日	平成7年(1995)5月29日	平成7年(1995)5月26日
2571191	A01B 49/04		審査請求日	平成8年(1996)11月11日	平成8年(1996)11月7日
2571210	B42F 21/04		審査請求日	平成8年(1996)5月7日	平成8年(1996)5月3日
2571249	F16J 15/32	3 1 1	審査請求日	平成8年(1996)6月20日	平成8年(1996)6月19日
2571250	F16J 15/32	3 1 1	審査請求日	平成8年(1996)6月20日	平成8年(1996)6月19日
2571423	F16K 5/06		審査請求日	平成7年(1995)11月8日	平成7年(1995)11月7日
2571424	F16K 5/06		審査請求日	平成7年(1995)11月8日	平成7年(1995)11月7日
2571435	B65D 5/50	1 0 1	審査請求日	平成8年(1996)3月26日	平成8年(1996)3月25日
2571489	H05K 7/14		審査請求日	平成8年(1996)2月5日	平成8年(1996)2月2日
2571572	E04B 9/00		審査請求日	平成7年(1995)9月12日	平成7年(1995)9月11日
2571631	F21V 8/00		審査請求日	平成8年(1996)3月27日	平成8年(1996)3月25日
2571643	A47L 25/00		審査請求日	平成7年(1995)10月31日	平成7年(1995)10月30日
2571644	A47F 7/00		審査請求日	平成7年(1995)11月10日	平成7年(1995)11月8日
2571702	C23C 16/50		審査請求日	平成7年(1995)12月4日	平成7年(1995)12月1日
2571708	E04F 19/04	1 0 2	審査請求日	平成8年(1996)6月5日	平成8年(1996)6月3日
2571711	E03F 5/04		審査請求日	平成8年(1996)12月9日	平成8年(1996)12月5日
2571722	H01Q 7/00		審査請求日	平成7年(1995)8月22日	平成7年(1995)8月21日
2571725	E06B 9/80		審査請求日	平成6年(1994)2月17日	平成6年(1994)2月15日
2571762	E04G 17/00		審査請求日	平成8年(1996)6月5日	平成8年(1996)6月3日
2571769	B32B 5/32		審査請求日	平成8年(1996)7月26日	平成8年(1996)7月24日
2571778	B66C 13/54		審査請求日	平成8年(1996)12月2日	平成8年(1996)11月29日
2571788	A01D 34/30		審査請求日	平成8年(1996)10月23日	平成8年(1996)10月21日

実 用 登録番号	分 類	識別 記号	箇所	誤	正
2571789	A01D 34/28	1 0 1	審査請求日	平成8年(1996)10月23日	平成8年(1996)10月21日
2571854	E03F 5/10		審査請求日	平成8年(1996)2月21日	平成8年(1996)2月19日
2571858	G01N 1/22		審査請求日	平成6年(1994)11月28日	平成6年(1994)11月26日